

## 湯川記念財団「望月基金」報告書

	申請者氏名	赤澤 輝彦
論文名	Pressure-Induced Superconductivity in UIr without Inversion Symmetry	
国際会議名	International Conference on Strongly Correlated Electron Systems (SCES'04)	
開催地	カールス・ルーヘ大学 (ドイツ カールス・ルーヘ市)	
参加期日	2004. 7.26 ~ 30	
<b>参加目的：</b>		
International Conference on Strongly Correlated Electron Systems (SCES'04) に出席し，研究成果の発表を行う．また，国際的な研究動向を調査する．		
<b>会議の状況：</b>		
強相関電子系という研究員数の多い国際会議であるため，参加人数が多く，活気のある国際会議であった．口頭発表が 1 会場で行なわれたので，参加者は全ての口頭発表を聴くことが出来た．しかしながら，口頭発表のセッションに多くの時間が割かれた為，ポスター発表は，昼食時間と同時で 13 時から 15 時までの 2 時間と口頭発表の終わった 18 時から 21 時までの 3 時間というプログラムとなっていた．多くの研究者がポスター会場を訪れたのは，14 時から 15 時の 1 時間の間であり，実質のポスター発表の時間は短かったように感じた．		
<b>成果概要：</b>		
本会議では「Pressure-Induced Superconductivity in UIr without Inversion Symmetry」というタイトルでポスター発表を行なった．発表の内容は，反転対称を持たない UIr の圧力中での磁気相図を作成し，強磁性量子臨界点付近で超伝導を観測したことということであった．多くの研究者が，反転対称を持たない強磁性体では超伝導が出現しないと考えていたことから，UIr での超伝導の観測は，大きなインパクトのある研究成果であったようだった．そのため，非常に短い発表時間ではあったが，はっきりなしに多くの研究者がポスター発表を聴きに訪ねてくれた．非常に活気のある発表となった．さらに，発表前から研究内容を話したいと考えていた研究者の殆どが我々の発表を聴きに来てくれたので，研究の宣伝という点でも満足できる発表となった．以上のことから，この国際会議に参加した目的は十分に果たせたと思われる．		